

## ソフトなイメージの竹製品開発研究

坂本 晃・宮崎 徹  
別府産業工芸試験所

### Development for Bamboo Products Conformed to the Soft Image

Akira SAKAMOTO, Tooru MIYAZAKI  
Beppu Industrial Art Research Division

#### 1. はじめに

経済は全体として緩やかな回復基調にあると経済企画庁は発表しているが、実感としての消費低迷はあいかわらず続いている。別府地域を中心とした竹製品製造業界は、消費低迷の波をまともに受けるとともに、近年の市場・製品の成熟化、東南アジア製品との競合等により、依然として苦戦を強いられている。

古くから別府竹工芸の企業経営者や職人は男性が100%近くを占めていた。別府高等技術専門校竹工科および別府産業工芸試験所の中堅技術者養成研修を通じて、少しずつ女性が進出してきてはいるが、その数はまだ少なく別府竹製品協同組合の組合員には1名もいない。別府竹製品が販売不振に陥っている原因の一つとして、ほとんどが男性である生産者が自分の嗜好に合わせてデザイン開発をしてきたため、女性が中心である消費者とズレが生じていると考えられる。そこで、消費の中心となる女性の嗜好である「ソフトなイメージ」を持つ竹製品の開発を行い、県内竹産業界に提案することを目的とした。

#### 2. 開発概要

##### 2.1 開発プロセス

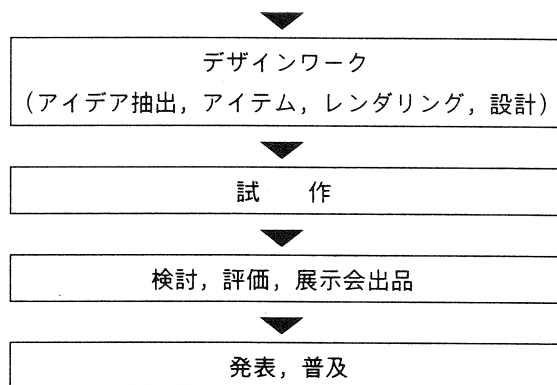
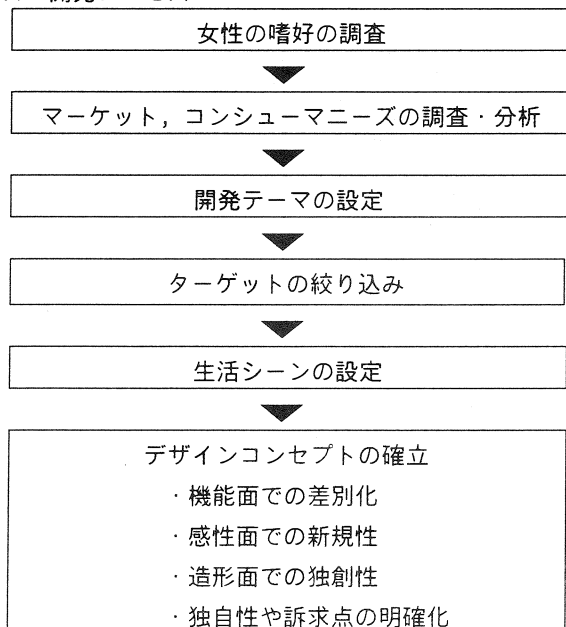


Fig.1 開発プロセス

#### 3. 調査概要

##### 3.1 調査方法

女性の嗜好調査はアンケートを調査手段とし、マーケットニーズ及びコンシューマニーズの調査は新聞とインターネットを情報収集の手段とした。インターネットは急速に社会に浸透し情報収集の手段として、早速欠かせないものとなってきた。

アンケート調査では竹工芸の基礎知識を持つ女性を調査対象とし、女流工芸家14名、および別府高等技術専門校竹工科の女性10名の計24名に対し実施した。比較のために別府高等技術専門校竹工科の男性16名にも回答を依頼した。(資料1)

##### 3.2 調査結果

###### 3.2.1 女性の嗜好アンケート調査

質問1では「性別と年齢」を尋ねた。女性は20代5名、30代8名、40代4名、50代7名という構成で、男性は20代1名、30代4名、40代1名、50代10名という構成であった。

質問2では「編組パターンの好み」を調べた。女性の好みで特筆すべきは、1位の網代編みで95.7%とほとんどの人が好む編組パターンといえる。2位が四つ目編みで79%、3位が鉄線編みで75%の人が好むとなっている。女性と男性で大きく異なるのは、女性では5位六つ目編み、6位青海編みと下位に位置する編組パターンが、男性には2位、3位と好まれる傾向にある点である。

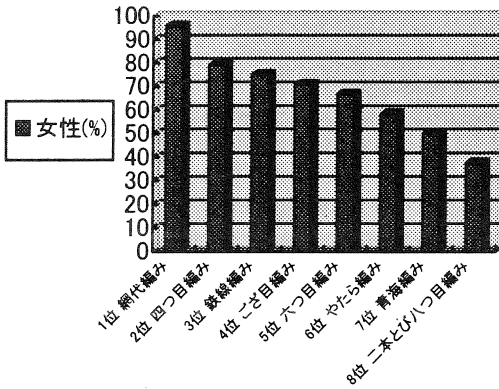


Fig.2 女性が好む編組パターン

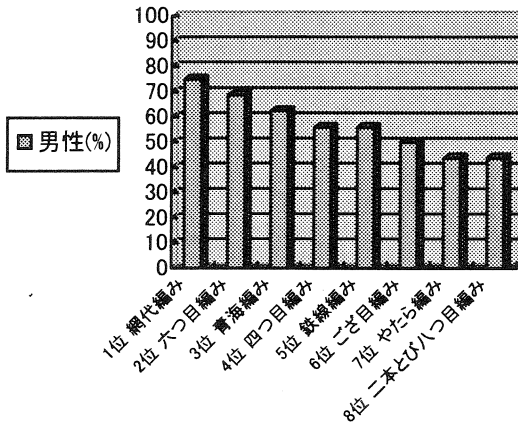


Fig.3 男性が好む編組パターン

女性の嫌いな編組パターンは、1位二本とび八つ目編み54.2%、2位青海編み45.8%、3位やたら編み37.5%となっている。

女性と男性で異なるのは、男性に好まれる青海編みを女性は2番目に嫌いと上位にあげていること。そして、男性が嫌いな編組1位43.8%にあげているござ目編みを女性は5位25%とそれほど嫌っていないこと。

また、男女共に網代編みを嫌う人はもっとも少なかった。

質問3では「品種(アイテム)の好み」を調べた。

女性が好む品種は、1位花籠39%、2位照明、同じく2位買い物かご26.1%、3位バッグ、同じく3位文庫21.7%、4位盛り籠17.4%となっている。この中でまだ量的に作られていないのは照明、買い物籠、バッグであり、今後需要が期待できる品種である。女性と男性で異なるのは、女性では4位の盛り籠が男性では2位25%と高く、男性は嫌いな品種のトップにバッグをあげるなど、バッグや照明をあまり好まず、保守的というか伝統的な品種を好むようである。

女性の嫌いな品種の1位は「非実用的な=大きすぎる」「古くさい=伝統的な」花籠を約半数43.5%の人があげている。これは非常に注目すべき意見である。2位に

は「安っぽい=ちやちな」土産品(玩具、輸入物を含む?)をあげている。

質問4では竹製品の色に関する嗜好を調べた。

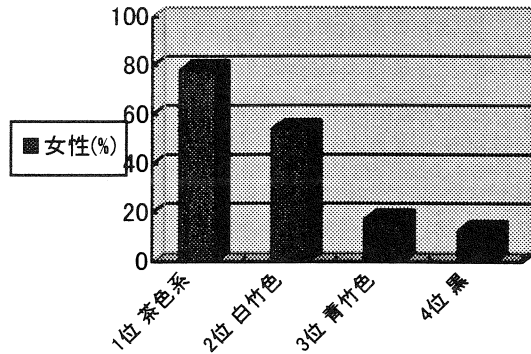


Fig.4 女性が好む竹製品の色

色に関しては女性も男性もほぼ同じ回答結果となった。

1位には、煤竹や炭化着色した竹を含む茶色系が圧倒的に好まれる。女性78.3%、男性56.3%。2位は白竹色(象牙色)で女性54.2%、男性43.8%。3位青竹色、4位黒と続く。好まれる色に共通するのは「落ち着いた自然に近い色」といえる。逆に嫌いな色は男女とも「人工的な原色」(女性47.8%、男性62.5%)と答えている。

質問5では素材の好みを尋ねた。

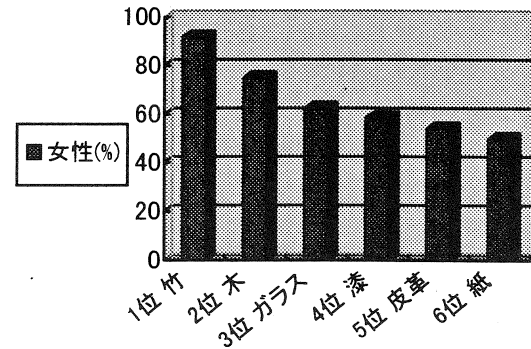


Fig.5 女性が好む素材

女性の素材に対する好みはグラフのとおりだが、男性と異なるのはガラスの3位と皮革の5位が上位にきている点である。男性ではその2種は低い位置であり、皮革にいたっては嫌いな素材の2位である。男女とも嫌いな素材はプラスチックとゴムであり、女性は男性と異なり金属も嫌いの3位にあげている。女性の嫌いな素材の共通項は「人工的」な感じが強いもののようなのである。

### 3.2.2 マーケット、コンシューマニーズの調査

(社)大分県地域経済情報センターの最新の調査によると、大分県でも携帯電話(PHS含む)の普及率は50%に及ぶ。全国では2000年3月で携帯電話は約5,000万台を突破した。赤ん坊から老人を含む人口の4割強が携帯電話を持っていることになる。日経流通新聞の1999年ヒット商品番付では携帯電話関連が大関と前頭にあがっており、

90年代全体では携帯電話がヒット商品1位を獲得している。一時的なブームというわけではなく、近年まれにみる大ヒット定番商品となり、我々の生活に今後とも大きな影響を与えていくことであろう。

しかし、着信メロディが流行る前は、着信音が鳴ったら数名がバッグをまさぐる風景をよく目にしたように、携帯電話の所持方法はバッグに入れるのが一般的である。取り出す様はあたふたという感じで、あまりスマートとは言えない。職場の机の上に置き去りにされた携帯電話が鳴り続けることもよくある。このように携帯電話には電話機デザインと、携帯方法の両面に問題がありそうである。

#### 4. 開発内容

##### 4.1 開発テーマの設定

携帯電話の携帯支援として、テーマを「ケータイ・ホルダー」とした。

##### 4.2 ターゲットの絞り込み

ターゲット像は「綿パンやジーンズを愛好し、自然志向でアウトドアを楽しむなど活動的で健康的な30～40代前後の男女。(女性に重点を置く)」と設定した。

##### 4.3 生活シーンの設定



Fig.6 設定した生活シーン

##### 4.4 デザインコンセプト

携帯電話をバッグなどに入れるのではなく、身につけて携帯するためのホルダーを開発することを基本コンセプトとした。

平成7年度竹製品イメージ変換研究で判明した「女性はハードなデザインよりも、ソフトなデザインを好む傾向にある」という事象を踏まえて、ソフトなイメージになるよう努めた。そこで、キーワードは「自然素材の持つ優しさ」、イメージは「ナチュラル」、「さわやか」で「マイルドな」感じを目指した。

取り付け方法はベルトに取り付ける方式と紐でたすき掛けにするポシェット方式の2種類にした。

##### 4.5 デザインワーク

デザインコンセプトに沿って形と色を考え、色は油抜きした白竹の象牙色と茶褐色(炭化着色)とした。

設計の参考にした携帯電話のサイズは以下のとおりである。

144×39×20mm

##### 4.6 意匠のプレゼンテーションについて

本年は試作を行わず、レンダリングスケッチによる提案とした。

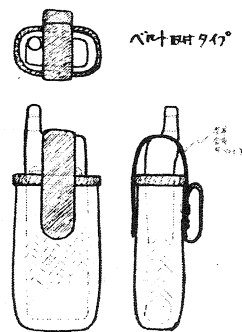


Fig.7 ケータイホルダーA

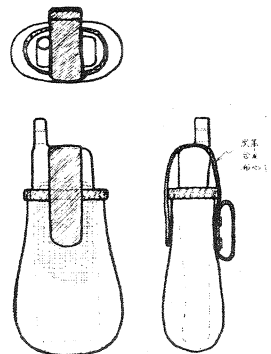


Fig.8 ケータイホルダーB

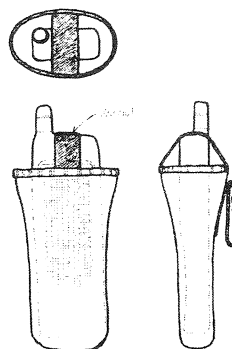


Fig.9 ケータイホルダーC

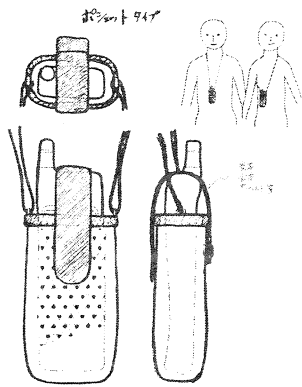


Fig.10 ケータイポシェット



Fig.14 使用シーン

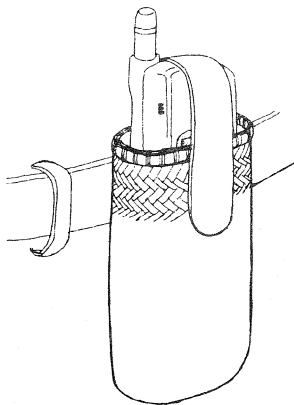


Fig.11 ラフなレンダリング

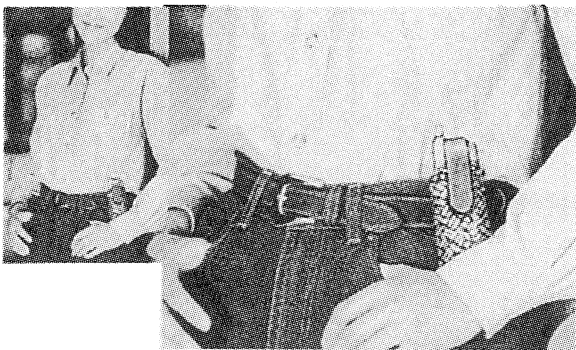


Fig.12 使用シーン

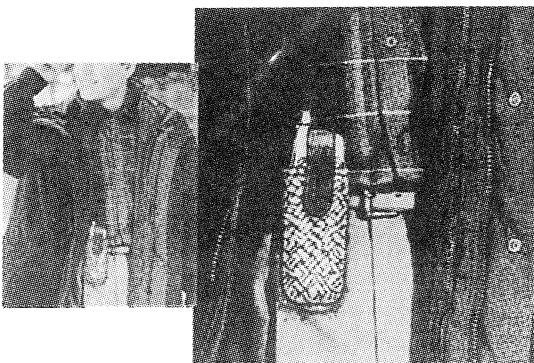


Fig.13 使用シーン



Fig.15 使用シーン

## 5. まとめ

### 5.1 調査結果・開発デザインおよび業界への提案について

今回の調査はアンケートの回答数が少なく、被験者設定に偏りがあったが、女性の嗜好の一端と男女の嗜好の違いについてはある程度参考になる結果が得られた。

次年度の女性の竹製品に対する嗜好調査は、一般消費者を対象に行う予定である。有意義な調査結果が得られるよう再検討し、デザイン開発に盛り込んでいきたい。

今後、広く竹工芸業界全体に、本開発のプロセスを参考としていただき、自らの商品開発のヒントや刺激となるよう努めるとともに、開発デザインについては商品化を進めるよう、業界に提示したい。

竹製品が持つイメージの固定化を打破し、アイテムの拡大を図り、竹工芸市場が活性化することを期待したい。

資料1

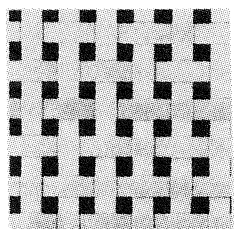
△ ▼ △ ▼ △ ▼ △ ▼ △ **竹工芸アンケート用紙** △ ▼ △ ▼ △ ▼ △ ▼ △ ▼ △

1. 右記の性別・年齢に○印を付けて下さい。 

女	男	・～20代	・30代	・40代	・50代	・60代以上
---	---	-------	------	------	------	--------

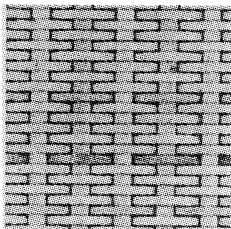
2. 好きな編組パターンには○印を、嫌いな編組パターンにはX印を【 】内にご記入下さい。(複数可)

四つ目編み



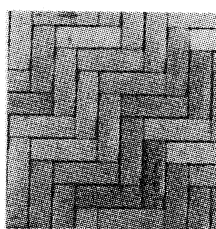
【      】

ござ目編み



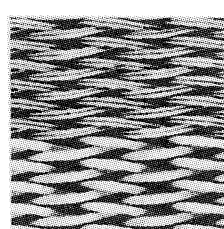
【      】

網代編み



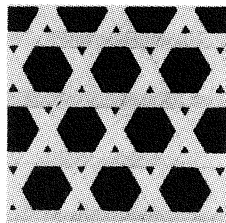
【      】

青海編み



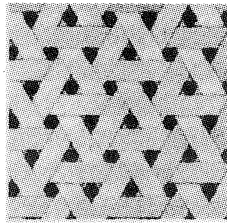
【      】

六つ目編み



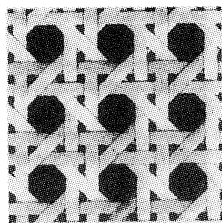
【      】

亀甲(鉄線)編み



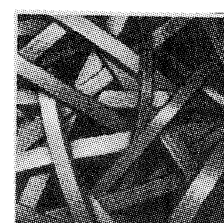
【      】

二本とび八つ目編み



【      】

やたら編み



【      】

3. 竹製品の品種(アイテム)について( )内にご記入下さい。

- ・好きな品種 ( )
- ・嫌い、または興味がない品種 ( )

4. 竹製品は白竹(油抜き竹)以外には、染色、塗装、蒸気処理などで着色を行ったものがあります。竹製品の色で好きな色と嫌いな色を( )内にご記入下さい。

- ・好きな色 ( )
- ・嫌いな色 ( )

5. 下記の工芸に使える素材から好きな素材と嫌いな素材を選んで( )内にご記入下さい。(複数可)  
 《木、竹、籐、ガラス、布、皮革、紙、石、土、漆、ゴム、プラスチック、金属、その他(名称記入)》  
 ・好きな素材 ( ) ・嫌いな素材 ( )

6. 竹製品について、またはその他なんでもけっこうですので自由にご意見をご記入下さい。